

もう一度初めから その3

毎朝、母親は、70歳後半に覚えた般若心経を口ずさみながら、先祖の霊と話をしています。私もいつの間にか覚えてしまい、一緒に声には出さずに口ずさみます。

仏説摩訶般若波羅蜜多心経
 観自在菩薩
 行深般若波羅蜜多時
 照見五蘊皆空度一切苦厄
 舍利子色不異空空不異色
 色即是空空即是色
 受想行識亦復如是
 舍利子是諸法空相
 不生不滅不垢不淨
 不增不減是故空中
 無色無受想行識
 無眼耳鼻舌身意
 無色声香味触法
 無眼界乃至無意識界
 無無明亦無無明尽
 乃至無老死亦無老死尽
 無苦集滅道無智亦無得
 以無所得故
 菩提薩埵依般若波羅蜜多故
 心無罣礙無罣礙故
 無有恐怖遠離一切顛倒夢想
 究竟涅槃三世諸仏
 依般若波羅蜜多故
 得阿耨多羅三藐三菩提
 故知般若波羅蜜多
 是大神呪是大明呪
 は無上呪は無等等呪
 能除一切苦真實不虛
 故説般若波羅蜜多呪
 即説呪曰
 羯諦 羯諦 波羅羯諦
 波羅僧羯諦
 菩提薩婆訶 般若心経

ぶっせつまかはんにやはらみたしんぎょう
 かんじーざいぼーさー
 ぎょうじんはんにやーはーらーみーたーじー
 しょうけんごーおんかいこう どいっさいくーやく
 しゃーりーしー しきふーいーくう くうふーいーしき
 しきそくぜーくう くうそくぜーしき
 じゅそうぎょうしき やくぶーによーぜー
 しゃーりーしー ぜーしょーほうくうそう
 ふーしょうふーめつ ふーくーふーじょう
 ふーぞーふーげん ぜーこーくうちゅう
 むーしきむーじゅーそうぎょうしき
 むーげんにーびーぜっしんにー
 むーしきしょうこうみーそくほう
 むーげんかいないうーむーいーしきかい
 むーむーみょうやくむーむーみょうじん
 ないしーむーろうしー やくむーろうしーじん
 むーくーしゅうめつどう むーちーやくむーとく
 いーむーしよとくこー
 ぼーだいさったー えーはんにやはらーみーたーこー
 しんむーけいげ むーけいげーこー
 むーうーくーふー おんりーいっさい てんどうむーそう
 くーぎょうねーはん さんぜーしよぶつ
 えーはんにやはらーみーたーこー
 とくあーのくたーらーさんみやくさんぼーだい
 こーちーはんにやはらーみーたー
 ぜーだいじんしゅー ぜーだいみょうしゅー
 ぜーむーじょうしゅー ぜーむーとうどうしゅー
 のうじよいっさいくー しんじつふーこー
 こーせつはんにやはらーみーたーしゅー
 そくせつしゅーわつ
 ぎゃーてい ぎゃーてい はーらーぎゃーてい
 はらそうぎゃーてい
 ぼーじーそわか はんにやしんぎょう

現代日本語訳

悟りを得た観自在菩薩さんは、深遠な智慧の完成の修行を実践していた時に、この世に存在するモノには、5つの構成要素があると見極めました。

さらに、観自在菩薩さんは、これらの構成要素は、実体のない『空』であると見抜いたのです。

これを見抜いた時、観自在菩薩さんはあらゆる苦しみから解放されたのです。観自在菩薩さんが呼びかけました。

「舍利子さんよ、この世では、あらゆるモノや現象は実体がないということから異なることはなく、実体がないと言っても、あらゆるモノや現象として存在しているのです。つまり、あらゆるモノや現象は実体がなく、実体がないということは、あらゆるモノや現象であるということです。モノや現象以外にも、私たちの心も実体はないのです。」

「舍利子さんよ、この世のあらゆることは「空」、つまり実体がないのです。生まれることも消えることもなく、汚れることもきれいになることもなく、増えることも減ることもありません。この世のすべてに実体がないという世界においては、モノや現象、私たちの心なんてものはないのです。ということは、私たちの眼や耳や鼻や舌や体や心もなく、景色や声や香りや味や触れるモノや心で感じるものも本当はないのです。私たちの見えている世界も、心の世界も全部ないのです。」

「この世のあらゆることが空だとわかれば、迷うことが無くなり、迷いが無くなることも無くなります。さらに老いること・死ぬことが無くなり、老いること死ぬことが無くなることも無くなるという境地に至ることができます。」

「そして、この世のあらゆることが空だとわかれば、苦しみ、苦しみの原因、苦しみをなくすこと、苦しみをなくすための方法というお釈迦様の教えもないのです。」

「つまりこのお釈迦様が説いた教えを知ることもなく、得る事もないのです。なぜならそもそも得る対象がないのだから。悟りを得た多くの菩薩さん達は、智慧の完成をよりどころとしているので、心を迷わすことはなく安らかにいるのです。心を迷わすものがないから、恐れることはなく、良くない妄想をする心から遠く離れ、苦しみのない安らかな境地にいるのです。過去現在未来にいる菩薩さんたちは皆、智慧の完成をよりどころとしているので、正しい悟りを得たのです。だから、人々は知るべきなんです。智慧の完成と言うのは、とても不思議な力を持った大いなる真言、大いなるさとり真言、この上ない最上の真言、他に比べるものはない真言のことであり、この世のあらゆる苦しみを鎮めてくれる偽りのない真実なんだと。だから智慧の完成という真言について教えるのです。」

「その真言というのは、智慧の完成において、次のように説かれました。

羯諦 羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶

(往ける者よ、往ける者よ、彼岸に往ける者よ、彼岸に全く往ける者よ、さとりよ、幸あれ。)

以上が智慧の完成の神髄です。」

このお経は、一つの宗教としてではなく、哲学として読むことが可能です。86歳の母親には哲学であっても宗教であっても、あまり変わりはなく、心落ち着かせる言葉としてしかないとします。あと100年たてば、私もなく、我もなく、世もなく、すべてが「空」になることは自明なのです。